

男女平等を 実現するため

長野県染谷丘高校 1年4組
工藤 菖

この課題に関わるSDGsの番号

5 ジェンダー平等を
実現しよう

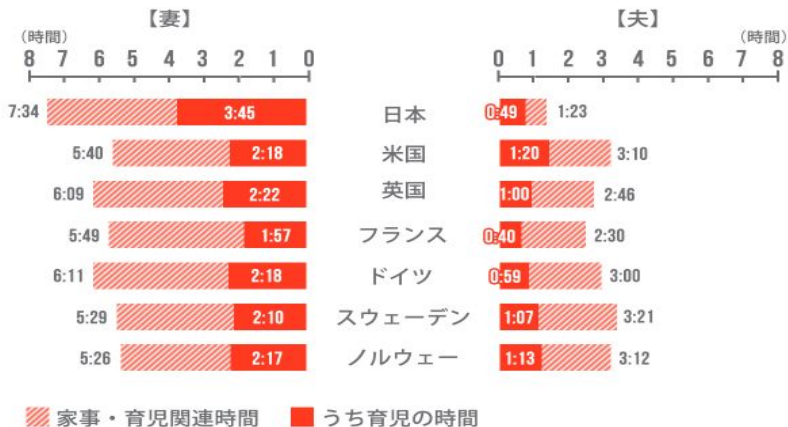


テーマ設定の理由

SDGsについてどんな課題があるのか調べていたら、この課題を見つけた。私はジェンダーについてあまりよく知らなかったため調べてみたいと思った。

現状

このグラフを見ると、日本は妻と夫の家事・育児関連時間に**約6時間**の差がある。そしてほかの国と比べると米国や英国などは日本と同じく妻のほうが家事・育児関連時間は長い。日本より大きな差はない。よって、日本は世界の中でも男女差別が激しい状況にあるといえる。



課題

女性の家事・育児に対する負担が男性よりも大きい。それは、家事・育児は女性がやることだという偏見があるのではないかと思う。だからその偏見をなくすことが必要だ。

解決策

ジェンダーギャップ指数という各国の男女格差を測る指標でEUの国々が上位にランクインしている。そこで、EUの取り組みに注目すると「男女平等へ向けた戦略的取り組み 2016-2019」という5カ年計画が行われていた。なので、日本も長い時間をかけて少しずつ家事・育児は女性がやるという偏見をなくしていけばいいと思う。

10代からの提言

- ・育児や家事は女性がやることだという偏見をなくす。
- ・男性の育児休暇が取りやすい社会を作る。

感想

- ・日本は他の国よりも男女差別が激しいことに驚いた。
- ・女性と男性ということで差別される機会がこれから少しでも少なくなっていけばいいなと思った。